

3月臨時教育委員会会議録

1 開催日時

平成26年3月26日（水） 午後1時～午後1時40分

2 場所

鳥取県庁第2庁舎5階 教育委員会会議室

3 出席委員

中島諒人（委員長）、坂本トヨ子、佐伯啓子、横濱純一（教育長）

4 欠席委員

松本美恵子、若原道昭

5 出席事務局職員

教育次長 生田文子、次長 山本仁志、
教育総務課長 森田靖彦、教育総務課参事 木本美喜

6 会議

1時、中島委員長が開会を宣言した。

（1）日程説明

森田教育総務課長が本日の日程を説明。

（2）議事

[公開]

・議案第1号 平成26年度教育振興協約の締結について

木本教育総務課参事より、平成26年度教育振興協約の締結について説明があった。

教育振興協約の内容については、3月の定例教育委員会での協議内容と変更はないが、委員から意見があったとおり、見やすい形式に修正した旨の説明があった。

中島委員長より、ICT活用教育推進協議会に関すること及び県内の学校で導入している事例の質問があり、生田教育次長及び山本次長より、ICT活用教育推進協議会は、ICT関係の有識者に委員として、鳥取県のICT活用教育ビジョンを策定していく協議会であること、県内高等学校では、鳥取西高等学校及び智頭農林高等学校で協調学習にICTを活用し

てグループ討議やプロジェクターでの発表などを行っていること、日南町の小学校で、高学年に一人一台のiPadを提供して学習していること、平成26年度には特別支援学校に400台以上のiPadを導入することの説明があった。

佐伯委員より、土曜授業等のコーディネーターの配置等の支援に関して、具体的にコーディネーターがどのような活動をするのか質問があり、生田教育次長及び山本次長より、学校と外部指導者との連絡調整や独自の活動内容の作成等であることの説明があった。

坂本委員より、学力向上指標の中で、最下位層の割合が全国を下回るとあるが、どのような取組をしているのか質問があり、生田教育次長より、学校に指導方法を工夫改善する教員を配置してチームティーチングを行っていること、少人数学級を活かす事業を行っている旨の説明があった。

また、中島委員長より、教育振興協約の指標をどの時点でチェックしていくのか質問があり、木本教育総務課参事より、9月に平成26年度のアクションプランの中間評価を行うので、併せて評価ができる範囲内で指標に関するチェックを行う旨の説明があり、原案のとおり可決された。